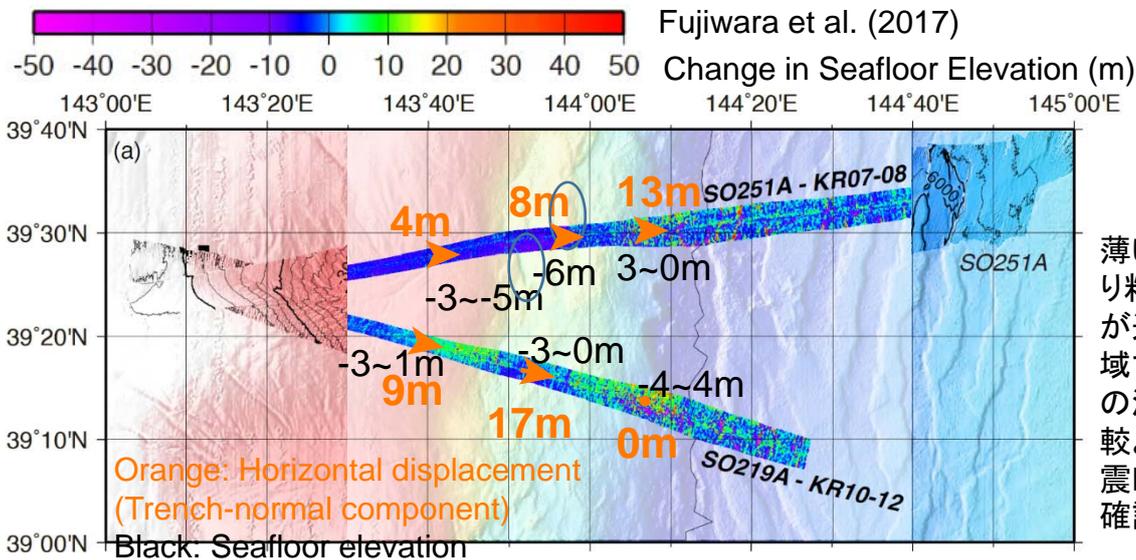
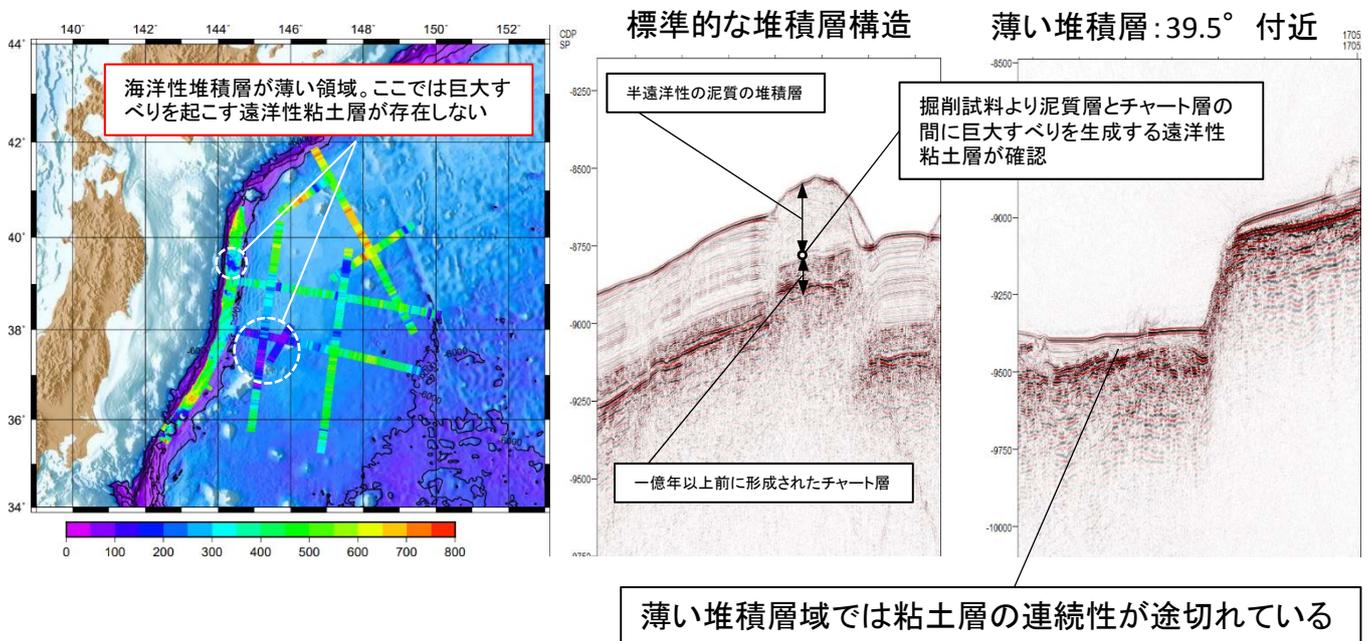


# 日本海溝地震発生帯の地下構造とその地震学的意義

小平 秀一 (JAMSTEC)

## ポイント

- 巨大地震と地下構造の関係を検討するため、日本海溝アウターライズから海溝軸までの地下構造探査を実施
- アウターライズから海溝軸の領域で、局所的に海洋性堆積層が薄い領域がある
- そこでは、遠洋性粘土層の連続性が乱されている
  - 「ちきゅう」の掘削は海溝軸巨大滑りは遠洋性粘土層に沿って伝搬したことを示した
- 39.5° 付近では遠洋性粘土層の連続性が途切れている。また、地震前後の海底地形データより39.5° 付近は地震時の海溝軸巨大地震性すべりは確認されない。
- 以上より、この不連続構造が海溝軸巨大地震性滑りの北方伝搬を止めた構造要因と解釈



薄い堆積層域により粘土層の連続性が途切れている領域では、地震前後の海底地形の比較より、有意な地震時地形変動は確認できない

小平 秀一 (JAMSTEC)